



ゆう
友



ゆう
湯



かもめ
鷗

荒浜地区まちづくり協議会 会報 第48号

**荒浜が好き！
みんなでつくる私たちの
ふるさと**

発行日 令和5年4月1日（土）
編集 荒浜地区まちづくり協議会
発行責任者 櫻井 幸次
住所 宮城県亶理郡亶理町荒浜字中野33
荒浜地区交流センター内（旧荒浜支所）
電話 0223-36-8189 FAX 0223-36-8190
E-mail wa.tukuri.ara@iaa.itkeeper.ne.jp

東日本大震災 追悼献花 令和5年3月11日（土）



3月11日（土）荒浜地区まちづくり協議会での三部会合同事業として、防災公園に設置してある慰霊碑前の広場において、東日本大震災の追悼事業を行いました。櫻井幸次会長をはじめ7名の部会員を中心に朝早くから準備に取り掛かり献花台を整えました。好天にも恵まれ約350名の方が献花に訪れ、献花台に向かって手を合わせ故人を悼み鎮魂を祈りました。

すぐ横の敷地では、全国の僧侶でつくる支援のグループが、献花に来た人々へたこ焼きを提供しました。14時を過ぎると慰霊碑に向かい犠牲者への慰霊を込め読経を行いました。

震災の発生時刻である14時46分には皆で黙とうを行い犠牲者へ冥福を祈りました。当日は亶理町長も献花に来られ、居合わせた人々へ丁寧な声をかけられていました。

活力部会事業 フラワーアレンジメント教室 令和4年12月26日（月）



活力部会では、勤労青少年ホームにて「フラワーアレンジメント教室」を開催し26名の方にご参加をいただきました。短い時間でしたが講師の方の指導にあわせて皆で同じペースで花材をさし、バランスを考えながら進めていきました。松や葉ボタン、ポンポン菊など、お正月の花材を取り入れカーネーションやガーベラなどを華やかにあしらひ完成です。和やかな会話も弾み参加者からは、「初めてのアレンジメントでしたが、きれいに仕上がりが嬉しい。」「形を整えるのが思っていたよりも簡単でした。」という感想をいただきました。



安心部会事業 陶芸作品展示会

安心部会では、1月19日（木）～23日（月）までの5日間の日程で、勤労青少年ホームにおいて陶芸作品展示会を開催しました。一緒に作品作りに取り組んだ方達の完成作品を鑑賞する機会があったらという声が部会員からあがり、今年度開催した計3回の陶芸教室受講生の方達に賛同をいただき作品が持ち寄られました。今回は出展作品数が113点集まり、5日間で47名の方が作品を見に来庁しました。安心部会一同皆様のご協力に感謝しております。これからも自分たちの力で企画をし、誰もが楽しく参加できるような事業を考えて行きます。



今年度最後の陶芸教室を勤労青少年ホームで開催し、荒浜地区在住の方や、それ以外の亘理町各地区にお住まいの方から多くの申し込みをいただき、今回は26名のご参加の皆さんと共に陶芸作品作りを楽しみました。受講生達は、1kgの信楽の土を手にし、蔵王町の万風窯さんから指導をうけながら、ゆっくりと丁寧に作り上げていきました。受講生からは、「陶芸作りはもちろん、みなさんとふれあうことができ良かった。仕上がりがどんなのか早く完成が見たい。」といった感想をいただきました。次回は5月に開催する予定です。広報わたり5月号に詳細を掲載する予定ですので、お誘いあわせの上ご参加をしてみたいはいかがでしょうか。



安心部会を中心に三部会で作った「荒浜弁かるた」が完成しました

荒浜地区まちづくり協議会の部会員と、その他外部のイラストレーターさんの協力により、「荒浜弁かるた」が完成しました。読み札は荒浜や亘理に関係する名所や歴史、特産品や観光などを題材にした文に荒浜弁を取り入れてつくりました。絵札はとてもユニークで可愛らしく、小さなお子様から大人まで誰にでも気軽に親しんでもらえるような仕上がりになっています。配布先を今後どのようにしていくか部会員で思案中ですが、最初は公共の教育施設などへ配布をする予定です。機会があれば、是非手にとって楽しんでいただけたらと思います。今年度はコロナウイルス感染症防止を考慮し、安心部会事業のひとつである新春かるたとり大会が中止でしたが、来年度は是非荒浜弁かるたを取り入れて開催し地区の皆さんが楽しく積極的に参加できるように企画して行きます。これからも積極的にまちづくりを楽しんでいただけるように、人と人が繋がる機会をつくっていきます。



東日本大震災の起きた3月11日に合わせ、奈良県奈良市にある薬師寺の僧侶松久保伽秀師が被災した東北沿岸部を訪れ「まごころ説法とお写経の集い」を開いています。3月10日(金)には、勤労青少年ホームを2年ぶりに訪問され、事前に申し込みのあった26名の参加者を前に心温まるお話をされました。また希望者には写経会を実施し、参加した方たちは心を整えながらゆっくりと一つ一つの文字を丁寧に書き写していました。松久保師は7年前亘理地区の中央工業団地にあった仮設住宅を訪れたのがきっかけで荒浜まち協ともご縁がつながり、勤労青少年ホームを訪問されるのは今回で3度目となります。話を聞くなかで、世の中で起きている地震や戦争など社会的に不安な出来事が多い中でも今年も平和に無事12年を迎えられることを大変有難く思えるような会でした。



令和4年度 活動報告



環境整備花植え事業
(5月、11月)



海岸清掃 (6月)



地曳網体験 (7月)



わたりふるさと夏まつり
ペットボトルランタン (8月)



グランドゴルフ大会
(10月)



荒浜復興祭 (10月)



カローリング大会
(11月)



止まれシール貼り
(12月)



子供クリスマス会
(12月)

今年度も地域の皆さんと連携、協力して、活発にまちづくりの事業を行うことが出来ました。来年度も地域の皆さんひとりひとりが荒浜に愛着を持てる様なまちづくりを部会員一同行ってまいりたいと思います。

